

生活リズムを整え、進んで

運動に取り組む子どもの育成

大分県国東市立安岐中央小学校

| | | | |
|-------------|---------------------------------------|-------|-----|
| 全校児童数 | 172名(男子88名 女子84名) | | |
| 全クラス数 | 10 | 教職員数 | 25名 |
| 体育専科教員訪問学校数 | | | 1校 |
| 訪問校 | 安岐小学校 (1・2・3・6年生 141名 男子77名 女子64名) | | |
| 体育専科教員名 | | 溝部 裕二 | |

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆休み時間の外遊びに個人差がある。
- ◆自力登校を促しているが車での送迎が多い。
- ◆社会体育をしている子どもとしていない子どもの体力差が大きい。

2 取組の計画

- ① 体育授業の充実
 - ・サーキットタイム実施、指導計画や評価の作成・提示、学習カードの作成・提示、板書の提示、ICT機器の活用。
- ② 指導者の意識・指導力の向上
 - ・体力向上プログラムや1校1実践作成。
 - ・アンケート(子ども・教職員)、校内での体育研修、授業公開。
- ③ 体育環境の充実
 - ・運動場や体育館の整備や各倉庫などの整理。
 - ・校内掲示。
 - ◎家庭・地域との連携(学級・学年通信、学校だより、保健だより、1校1実践の公開)

Do：実践内容

1 体育授業の充実

- (1) **サーキット・体幹運動の実施**
 - ①授業ははじめの整列前にサーキットタイム。
 - ②体幹運動で姿勢保持や体を動かす楽しさを体験。
- (2) **指導計画や学習カード、板書の提示を行い、授業の見通しを持たせる。**
- (3) **ICT機器の活用…1人1台タブレットの活用**
 - ①自分の動きを確認させたり、教え合わせたりして学習中に「できた」を実感できる活動の展開。

2 指導者の意識・指導力の向上

- (1) **1校1実践見直し・実施**
 - ①楽しく意欲的に取り組めるよう、簡潔で肯定的なことばかけをする。
 - ②アンケートをもとに1校1実践等の検証・改善と子どもが意欲的に取り組める運動の設定と提案。
 - ③市内ステップアップI・IIの対象教員の教員を訪問し指導助言をする。
- (2) **校内での体育研修の時間は確保できなかったが、運動領域ごとのポイントをまとめた資料を配布し、授業中や放課後等で説明・助言をした。**
- (3) **授業公開**
 - ①4年生フラッグフットボール(ゴール型ゲーム)

3 体育環境の充実

- (1) **運動場・体育館の整備と各倉庫の整理**
- (2) **用具の準備片付け・場作り**

工夫したこと(&苦勞した点)

1 体育授業の充実

- (1) サーキットタイムの実施。
- (2) 体幹運動を取り入れた準備運動。
- (3) 運動量の確保とタブレットの活用のあり方。
※市教委が本年度導入したロイロノートを活用して授業を行った。効果的な活用を模索中。
- (4) 兼務校での打ち合わせ。(時間の確保が難しい)
- (5) 学習カードや板書(書き込みの時間確保)

2 指導者の意識・指導力の向上

- (1) アンケート結果をもとに、体力向上プロジェクトチームで1校1実践等の検証・改善をした。
- (2) スモールステップで成功体験を多くさせたり、1時間の中でできたことを沢山褒めたりして意欲を継続させる。(T2として)
- (3) 担任への指導として単元始めの時間はT1として指導し、やり方を示してから子どもの指導に入った。

3 体育環境の充実

- (1) 運動場・体育館の整備・用具倉庫の整理。
- (2) 必要な教材教具の準備・作成・補充。
- (3) 可能な限り、学習前の用具の準備・場の設定。
- (4) ノーメディアデー・親子で触れ合いストレッチなど、PTA保体部と連携。

Check：取組の成果

- ① 運動の場や教材・教具の工夫をしながら学習を進めてきたことで、運動に対するの関心や挑戦してみようとする姿勢が多く見られるようになってきた。
- ② 運動が苦手な子どもや上手くできない子どもにもポイントを伝えたり、アドバイスしたりすることで、子どもたちの学習意欲の持続につながった。
- ③ 学期ごとに行う「運動への愛好感度」や「1校1実践への取組」に対する肯定的回答が上昇した。

Action：今後の課題

- ① 教材教具の補充。(兼務校も同様)
- ② 運動に苦手意識をもつ子どもの意欲の持続
- ③ 家庭や地域との連携と啓発活動。
- ④ 兼務校との打ち合わせの時間の確保。
- ⑤ 体育専科教員の人材の育成と確保。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- 学習の工夫次第で、どの子どもも体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができ、自信につながる。
- 周りから認められることで、学級に自分の居場所を感じられるようになる。
- 運動好きな子どもの増加につながる。

ICT・タブレットを使用した授業



ロイノート
作戦カード



チャレンジタイム (1校1実践)



授業公開 (フラッグフットボール)



体育環境の充実 (校内掲示・ジャンピングボード設置)

